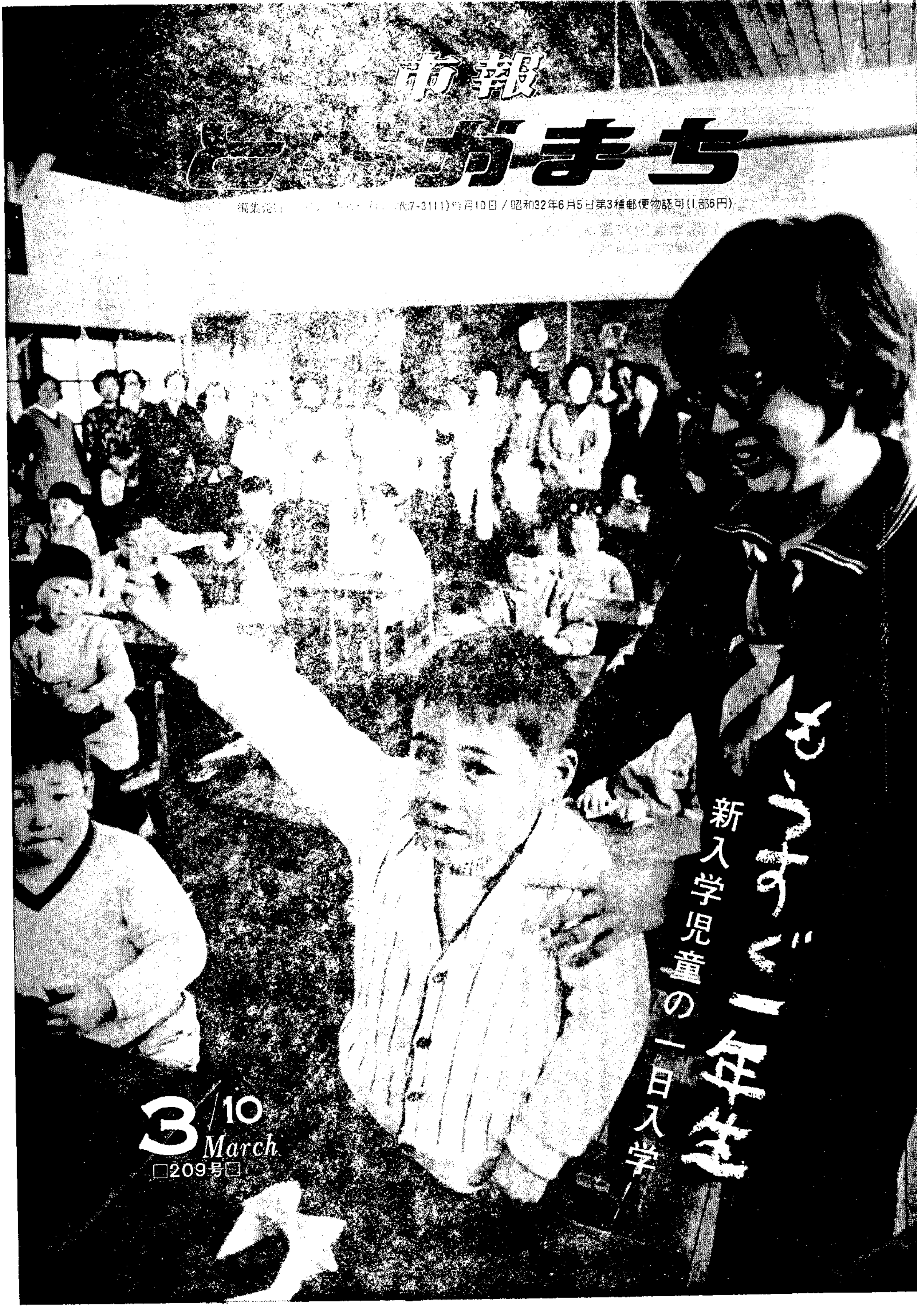
市報
とおかまち

編集発行 [illegible] (7-3111) 毎月10日 / 昭和32年6月5日第3種郵便物認可(1部6円)



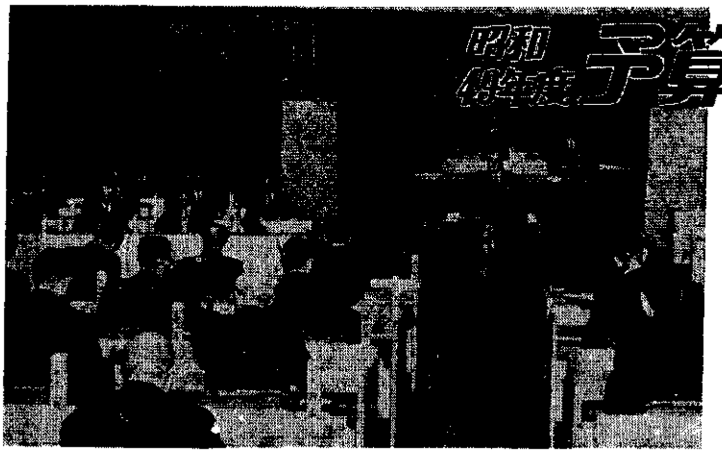
もうすぐ一年生

新入学児童の一日入学

3/10
March
□209号□

昭和49年度予算案を審議

市議会第1回定例会



—市議会の審議風景—

一般会計　総額34億7千万円

市総合計画重点の建設予算

市議会第一回定例会は、去る七日から昭和四十九年度市政の基本的方向を定める予算案を審議中ですが、今月は昭和四十九年度予算案のあらましをお知らせします。

昭和四十九年度一般会計予算は、教育文化の向上、道路交通の整備、福祉行政の推進を三本の基本的施策として、さらに長年市民の要望の強かった公共下水道への具体的着手と懸案の十日町公園造成工事等の生活関連施設づくりに着手。苗場山麓開発事業とともに当市の重点事業として積極的に推進します。

国の場合、物価の早急な安定を期するための総需要抑制に最大限の努力を払い、極力投資的経費の伸びを抑えていますが、当市の場合、道路の改良舗装、その他の施設水準は比較的低位にあり、また市民の生活関連施設事業の要望が年々増加している現状から昭和四十九年度の予算編成は国の経済見通し、予算案、財政計画などを十分勘案しながら一般経常経費をできるだけ抑制し、市総合計画（実施計画）に予定された建設的事業の実現を第一義として、新年度予算案を作成しました。

一般会計歳入歳出予算総額は三十四億七千九十万円と、前年度当初予算にくらべ九・二％増になっています。

しかし、昭和四十八年度予算のなかには（仮称）西小学校の用地買収費三億四千五十万円が含まれており、それを除くと二十二・三％の伸びとなります。

国民健康保険事業勘定は、六億七千八百七十八万千円で二十六・三％の増、同診療施設勘定は二千八百三十万六千円で五・五％の増、簡易水道は七千三百五十四万五千円と五十五・一％の増となります。

土地開発基金を活用し

公共用地など先行投資

歳入の主な内訳

一般会計の歳入面をみますと、別表のように市税は十億三千七百八十一万円と前年にくらべ二十二・九％の増、歳入総額の二十九・九％をしめています。地方交付税は九億九千百万円で前年にくらべ三十二・一％増加し、歳入総額の二十八・六％となりました。

国、県支出金は六億六千五百五十三万円で歳入全体の十九・二％をしめ、そのほか諸収入二億四千二万円、市債二億千七百八十万円等となっています。歳入面では、目いっぱいの計上を行ない、一般経常事務費は極力抑制し、建設的投資、民生関係教育関係にふりむけました。また、道路や公共下水道等の用地物件の先行取得をはかるため、土地開発基金などを活用して、重点的に用地物件の先行取得をはかることにしました。

教育施設と福祉施策の充実が重点

歳出の主な内訳

歳出の主な内訳をみますと、別表のように教育費が六億四千六百二十三万円と歳出総額の十八・六％で歳出のトップにたちました。これは、（仮称）西小学校建設工事、小中学校々舎等防災施設費、プール工事、市営グラウンド照明工事、十日町中学校屋体改築工事、移動図書館（自動車）などが主なものです。つぎに民生費が六億四千六百十七万円と歳出の十八・六％をしめています。これは、老人や身障者対策を重点に老人福祉関係一億三千五百九十八万円、身体障害者福祉費は千九百六十九万円と前年にくらべて一九一・四％の大幅増となっています。このほか児童福祉費や生活保護費などが主なものです。

下水道事業などに着手

土木費は、五億九千百七十二万円で、歳出総額の十七％をしめ、市道の改良舗装や雪害対策費、都市計画費関係などが、その主なものですが、特にことしから公共下水道事業や十日町公園の造成に具体的着手するための予算を計上しました。

総務費関係では、交通安全関係施設や駐車場対策として、新たに駐車場設置資金貸付金制度の新設、二十周年記念事業等となっています。

衛生費関係では、川西町と共同で行なうごみ焼却炉増設工事（二年目）やへき地医療対策費などです。

苗場山麓開発に努力

農林水産業費は、苗場山麓開発推進事業として、千五百六万七千円。これは前年比五百六十九万円の増その他土地改良事業補助、土地基盤整備事業補助、国土調査費などとなっています。また林業振興のため、林道開設、改良工事費として五千三百八十一万六千円計上しました。これは前年にくらべ一三八・五％と大幅に伸びています。このほか二十周年記念植樹などの予算が盛られています。

産地構改事業費は三倍に

商工費関係では、産地宣伝事業補助、魚沼スカイライン開発負担金、新規に消費者行政推進活動費、フラワーボックス管理協議会補助、専門店会記念事業補助などですが、特に産地構造改善事業補助として、三百六十六万円計上。これは前年の百八万円に対し三倍以上の伸びをしめしました。

そのほか、一部事務組合関係の負担金として、広域事務組合一億八千二百十七万七千円、衛生施設組合四千七百二十二万八千円などですが、広域消防関係では消防庁舎建設（二年目）が主なものです。

昭和49年度一般会計予算案など

——第一回市議会定例会——

第一回市議会定例会は、去る三月七日から開かれ、現在審議中ですが、この市議会定例会に提案されたおもな議案はつぎのとおりです。

今回の定例会は、呼び名を予算議会ともいわれ、昭和四十九年度一般会計予算案及び特別会計予算案の審議がその中心をなしています。

そのほか、十日町地域視聴覚ライブラリー協議会の設置、市政事務嘱託員設置条例の一部改正、十日町市印鑑条例の全部改正、十日町市敬老祝金支給条例の一部改正、十日町市妊産婦及び乳児の医療費助成条例の一部改正、十日町市国民保険条例の一部改正などです。

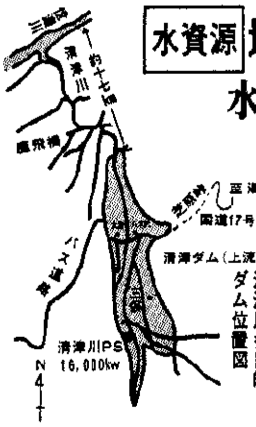
十日町地域視聴覚ライブラリー協議会の設置は、学校教育や社会教育に必要な視聴覚機器、教材の保有と利用を行なうため、十日町市のほか川西町、津南町、中里村が共同で協議会を設置しようとするものです。総額七百二十万円、うち十日町市負担分は二百三万二千円。協議会事務局は十日町市教育委員会事務局内におくことになります。支給条例の一部改正は敬老祝金の七十歳以上年額二千円を三千円に八十歳以上年額三千円を四千円に九十歳以上年額四千円を五千円にそれぞれ引き上げるための改正案です。

十日町市妊産婦及び乳児の医療費助成条例の一部改正は、妊産婦の所得制限を撤廃し妊産婦のすべてを医療費の助成対象とするための一部改正案です。

十日町市国保条例の一部改正は助産費一万円を二万円に葬祭費五千円を一万円にそれぞれ引き上げて支給するための一部改正案です。

水資源 地下水に全量依存は危険

水需要量調査報告まとまる



清津川多目的ダム位置図

市では水需要の実態と将来の水需給の見通しをたてた「水需要量調査報告書」をこのほどまとめました。

十日町市の水資源は、年間降水量が約五億五千万立方㍍と全国平均の約二倍をしめていながら、地形が悪くまた流出が融雪や梅雨期に集中するため利用に適さず、ほとんど地下水を利用しています。

特に地下水の揚水量は年間二千二百万立方㍍にも達しており、最近地下水位の低下や井戸相互の干渉などの問題がでてきています。

また水需要の将来の需給見通しは、昭和六十年には二億七千五百万立方㍍と昭和四十六年の一億二千四百万立方㍍に比べ約二・二倍増加するものと予測しています。

新たに需要が増える一億四千六百万立方㍍のうち、地下水に期待する量は二千九百万立方㍍で、残りの八十％は河川に依存しなければならないと指摘。さらに、水需給のひっぱくは、市将来の発展の制約要因となるおそれがでてきていると分析し、つぎのことを強調しています。

①市街地区では、生活用水、工業用水、消雪パイプ用水の全量を地下水に依存しているが、すでに適正揚水量の限界を超えており、地下水汲み上げ困難という万一の事態に備え、地下水汲み上げ量の規制、地表水への転換の検討が必要です。

②降水量は多いが、容易に水資源として利用できない「水欠地域」なので、将来の新規需要量のうちおよそ九千万立方㍍を清津川多目的ダムに依存しなければならず、ダムの早期建設運動を強力に展開する必要があります。

③「水はタダ同然」ではなく容易に手に入らないもの高くつくものになってきているので、貴重な水資源について市民のみなさんの理解が特に必要です。

昭和60年における水需給の見通し （年間総量：単位千㎥）

要素＼種別		生活用水		工業用水	農業用水	流消雪用水			合計
		上水道	その他			流雪溝	消雪パイプ	散水道路	
河川依存量		—	—	—	94,193	7,776	—	18,942	120,911
地下水依存量		3,139	1,411	3,342	—	—	44,161	—	52,053
内訳	上水道依存	3,139		260	—	—	—	—	,3,399
	浅井戸依存	—	957	—	—	—	—	—	957
	深井戸依存	—	454	3,082	—	—	44,161	—	47,697
小規模ため池依存量		—	—	—	2,242	—	—	—	2,242
清津川多目的ダム依存量		13,564	—	15,999	33,635	13,271	8,680	11,050	96,199
合計		16,703	1,411	19,341	130,070	21,047	52,841	29,992	271,405

記念植樹や市民憲章制定など

審議会が市長に答申

20周年記念行事計画

ことしは、市制施行二十周年の記念すべき年にあたります。

そこで、市制施行二十周年記念行事計画審議会（片賢吉会長）では、記念事業や行事の策定を進めていましたが、このほど市の将来に役立つ記念植樹や十日町公園建設、市史編纂など記念事業にウエートを置いた計画案をまとめ去る二月一日市長に答申しました。

市では、この答申案をもとにして具体的な事業計画や行事計画づくりを急いでいますが、市民総参加の記念行事等とするため、みなさんのご協力をお願いします。

20周年記念行事等の計画

記念事業計画の内容は、①記念植樹②十日町公園の着手③市民憲章の制定④市史編纂の着手⑤記念誌の発行⑥自動車文庫の設置⑦民俗資料館の設置、の七項目となっています。

記念行事計画の内容は、①市民体育大会②記念式典③市民ほう賞④協賛行事の四項目からなっています。

記念植樹は、市の木「きり」市の花「山つゝじ」の普及をはかるため、きり苗木六千本、山つゝじの苗木三千本を用意、市民の要望に応じてどちらか一本を家庭に無償配布。またモデルきり畑の造成や、市推奨の木「杉」七千五百本の苗木を八箇南沢団地に植え、併せて市有林の管理育成に功績のあった人を表彰することにしています。また市民の憩いの場としての十日町公園に着手、初年度は桜ガ丘公園二・七㌶の整地と造成を予定しています。

市民憲章の制定は、市民の郷土愛と連帯意識を高め、市としてのビジョンを高めるために制定するもので市民各層の代表で構成する制定委員会で審議されます。さらに、今年度から五か年計画で市史の編纂に着手。そのほか「市政20年のあゆみ」を発行、各世帯に配布。文化的な面としては、各地区巡回の自動車文庫と民俗資料館の設置が考えられています。

行事計画としては、八月上旬全市民対象の市民体育大会、十月中旬頃記念式典を計画しており、この席上、善行のあった市民のほう賞と市民憲章を発表。そのほか市民ほう賞委員会の設置や小唄まつり、農業祭等の各種協賛行事が予定されています

固定資産課税台帳の縦覧は

四月十日から四月三十日まで

昭和四十九年度から、専用住宅等の敷地については、二百平方㍍までの部分について税金を二分の一に軽減するという法改正がなされる見込みです。そこでこの算定作業のため、毎年三月一日から三月二十日まで行なっておりました固定資産課税台帳の縦覧期間を今年に限り四月十日から四月三十日までに変更しましたのでお知らせします。

振替納税が便利です

市税の納税方法

納税するためにわざ〳〵市役所、銀行等に出向かなくとも納税できる方法があります。

最も簡単なのは、預貯金口座からの振替納税です。

これは、届出をしていただくだけであとは金融機関でやってくれます。届出の用紙は市役所税務課にあります。ご請求下されば早速お送りします。

次に、お近くの納税組合に加入されることです。近くに納税組合がない場合、納税者十人以上で組合をつくれます。この手続きは、組合員と組合長の名前を市役所税務課にお届けいただくだけです。

なお、納税組合には、市から事務費の補助金が交付されます。

そのほか、市税についてご不明のことがありましたら、ご遠慮なく市役所税務課にお尋ねください。

軽自動車の異動届を忘れずに

軽自動車（一二五CC以下）をお持ちの方で、廃車や売却をされたときは速かに市役所税務課に届出をしてください。この届を怠ると税金がかかることになりますのでご注意願います。

市税の減免等について

病気や災害などで「納税が著るしく困難」な場合は、税金の延納（分納）や減免の制度があります。

3月の休日救急医

10日	山口医院（袋町中）	☎2―2174番
17日	池田医院（本町四）	☎2―2581番
21日	富田医院（神明町）	☎2―3269番
24日	庭野医院（神明町）	☎2―2711番
31日	大島医院（川原町）	☎2―2957番

グループ　ぐるうぷ

すくらむサークル

こんにちは、すくらむサークルです。結成以来満三歳の誕生日を迎えました。とにかくいろいろな人達が集まって活動をしています。なかでも一番多いのが話し合いです。

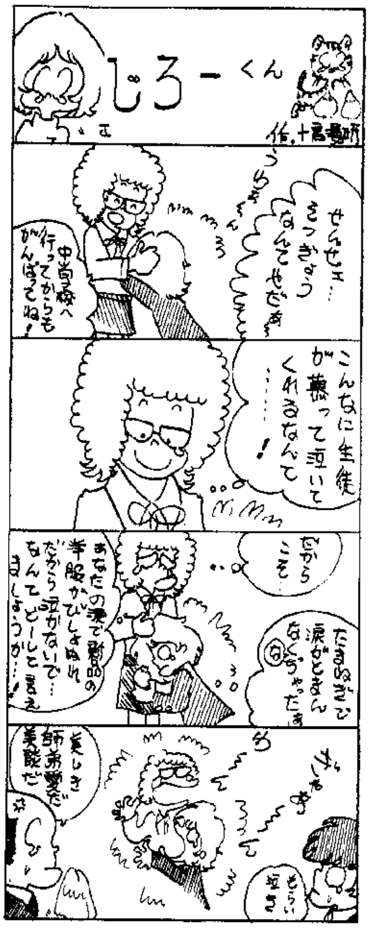
四季を通じ、スキー、花見、海水浴、キャンプなどみんなで考え、みんなで活動しそのなかで仲間をつくっていく。

これが私たちサークルの目指すところです。

さあ、あなたも是非参加してみませんか。毎週水曜日、市公民館（市民会館内）でお待ちしています。

会長、宮沢良夫（新潟県労働金庫十日町出張所内）☎七一八三〇〇番。

48年8月　笹ケ峰キャンプ場で


じろーくん
作．十高漫研
せんせェ…そつぎょうなんてやだぁ
うわぁ～ん
中学校へ行ってからもがんばってね！
こんなに生徒が慕って泣いてくれるなんて……！
だからこそ…
たまねぎで涙がとまんなくなっちゃったぁ
あなたの涙で新品の洋服がびしょぬれ　だから泣かないで…　なんてどーして言えましょうか…！
ぎゃあ～
美しき師弟愛だ美談だ
もらい泣き

寄付ありがとう

香典返し　柳文治…一万五千円、**社会福祉事業**　春日由三…二万円（講師謝礼）、長津国吉…二万七千八百八円、竹内銀風…一万円、上越後楽園…二万五千九百七十六円（チャリティーボウル）、十高三年三組…一万八千二百三十円、十日町ドレスメーカー女学院…四千六百二円、織労雪まつりランド慈善ナベ…三万四千三百七十七円、渡辺春吉…エンピツ一ダース、ノート七十冊。

「二十歳の記録」原稿募集

成人式は五月十二日、市民体育館で行なわれる予定です。

市公民館「二十歳の記録」係では、昭和二十八年四月二日から昭和二十九年四月一日生まれを対象につぎのとおり原稿を募集します。希望者は、四百字詰原稿用紙四枚以内（一人二編以内）に住所、氏名、職業を明記してください。（締切は三月二十五日）テーマ／つぎのなかから選んでください。

①農業を考える②離村問題を考える③出稼問題を考える④わたしの職業（職場）⑤わたしの青春⑥わたしの結婚観⑺親から学んだこと⑧初めて選挙権を得て⑨市政への発言⑩詩「二十歳」⑪自由題。

「国民年金の歌」歌詩募集

社団法人日本国民年金協会（東京都千代田区平河町砂防会館内）は、国民年金制度発足15年を記念して、「国民年金の歌」の歌詩を募集します。

四百字詰原稿用紙に国民年金をテーマにした歌詩を楷書で記入、三月三十一日までに送付してください。

簡易水道の検針・集金方法が変わります

簡易水道の検針と集金はいままで毎月行っていましたが、四月分から二ヵ月ごとに行なうことになりました。

これは、四月から料金計算を電算に委託することになり、経費の軽減をはかるために変更するものです。ご協力ください。

自動車税の納期が年一回に

自動車税は、いままで年二回（四月・十月）の二期に分けて納めていただきましたが、昭和四十九年度からは、年一回となり、五月末日が納期限となります。（十日町財務事務所）

消防職員を募集

昭和四十九年五月採用予定の消防職員（消防士四名）をつぎのとおり募集します。希望者は、三月二十五日までに十日町公共職業安定所、十日町地域消防本部にお申込みください。

受験資格／昭和二十四年四月二日から三十一年四月一日生まれの男子で高卒又は同程度の学力者、期日／昭和四十九年四月七日。身体的条件等くわしいことは消防本部総務課（☎二―二四五〇番）へお問い合わせ。

踏切事故にご注意

最近、踏切事故が相つぎ一月から二月までの二か月間に四件もの事故が発生しています。歩行者も運転者も十分注意し市民ぐるみで交通事故防止運動にご協力ください。

踏切は必ず一時停止し、安全を確認して通過してください。

表紙のことば

新入学児童の一日入学が、去る二月二十一日馬場小学校で行なわれました。

もうすぐ一年生になる二十四名のよい子たちは、希望に胸をふくらませ教室に勢揃い。

子どもたちは、お友達と一緒に色紙を折ったり、歌をうたったり楽しい一日をすごしました。